

原発あかん・橋下いらん・弾圧やめて!

11・10

太田昌国 講演会

壊れちまった世の中で、今日は何を言う

フクシマと結ぶ 音の力いのちの言葉 (Vol.16)



2019
11/10 日

12:30開場
13:00開演
17:00終演(予定)



大阪市大正区千島2-6-15

大正会館ホール
[大正コミュニティ
センター2階]

☆途中休憩有り、軽食・飲み物など販売します。
入場料は徴収しません。
事前に**参加協力券【千円】**をお買い求め下さい。

第1部 13:00~

スタンダップ
コメディ
ナオユキ



ミニ・ライブ
川口真由美



特別報告(1)

角岡伸彦
『ふしぎな部落問題』



特別報告(2)

石丸次郎
『北朝鮮と如何に
向き合うか』



第2部 15:30~

講演 太田昌国

■主催・問い合わせ

コラボ玉造 [TAMAZO]



tel 090-8146-1929 [Cメール可]
fax 06-6741-8012

〒544-0031 大阪市生野区鶴橋3-6-24

メール tamazo@fanto.org

ウェブ <http://fanto.org/tamazo>



■後援

新聞『うずみ火』
『人民新聞』

原発事故は終わっていない!
政治弾圧は続いている!
安倍晋三は「モリカケ問題」を
誤魔化したままだ!
消費税が10%に引き上げられる!
社会的差別は強められ、
私たちの人権は踏みにじられ
貶められている!
 …あなたは、本当に、このままで
 …いいんですか?

「国鉄分割民営化」の時でした。32年前、中曽根康弘の「戦後政治の総決算」に野党も労働組合も屈服・敗北して、総評・社会党ブロックは数年後に完全に崩壊、この国で現在進行し続ける「平和・民主主義・人権」の壊死がこの時すでに始まっていたことを、有権者の何%が自覚しているのでしょうか?

自由民主、社会民主、立憲民主、国民民主と「民主」の安売りをするような党名が跋扈し、はたまた、元号を党名に挿頭してでしか「乱」を起こせなかった政治圏…の中で、「共産党の奮闘」だけが美しくも哀しい…何よりも、投票率は過去2番目の低さ(最低は1995年の44.5%)。中原中也の詩は、今の私たちの「悲しみ」を見事にうたっていませんか?

それでも、それでも…

自他共に「台風の日」の役割を果たした『れいわ新選組』の登場は、「大きな世界を変えるのは一人の小さな動きから(中川五郎)」を私たちに教えてくれました。しかし今後、山本太郎が「変革の中心核」になるかどうかは飽くまで未知数です。言うならば、原発事故直後の抗議行動や戦争法・共謀罪法反対運動の「国会前行動」のような熱気を帯びた政党の登場を、私たちは目の当たりにしたに過ぎません。それでも、本来「闘う側」の代表たるべき社民や立民に比べればく雲泥の差、月とスッポン>です。

それよりも何よりも、大阪がヤバイ! ファシスト党である「維新の会」の台頭は、どこまで続くのでしょうか? 奴等は凶に乗って「来年の京都市長選に候補者を出す」とまで公言しています。大阪の野党共闘が結実していれば、ここまでの惨敗はなかったはずです。大阪の有権者の見識が世界中から疑われている、と言っても過言ではないでしょう。

ルソーは『社会契約論』に「イギリス人民は自分たちは自由だと思っているが、それは大間違いである。彼らが自由なのは、議員を選挙する期間だけのことで、議員が選ばれてしまうと、彼らは奴隷となり何者でもなくなる」と書きました。坂口安吾は『墮落論』で「墮ち

る道を墮ちきることによって、自分自身を発見し、救わなければならない。政治による救いなどは上皮だけの愚にもつかない物である」と論じました。選挙で社会が変わるのではありません。社会変革のための巨大なうねり(市民運動や階級闘争)の結果が選挙に反映するのです! 何度でも言いましょ、
 「選挙で社会は変わらないのだ!」と。

この国の民主主義は形だけでいい(?!)

映画『新聞記者』の最後で、内閣調査室の参事が「この国の民主主義は形だけでいいんだ」と吐き捨てるように言います。これは、この国に生きる人間(国民だけではない!)に対する愚弄・軽蔑・侮辱・嘲笑であり、二つの大戦を経て人類史の中に踏み固められてきた「平和と民主主義、人権尊重」の原則を真っ向から否定し、それを蹂躪する言葉です。

この言葉に裏打ちされるかのように、憲法改悪を目論む安倍政権は集団的自衛権を容認し、沖縄への基地集中と辺野古新基地建設を推し進めています。さらに、天皇代替わりと「新元号」公布、G20(大阪サミット)と東京オリンピックの開催で祝祭ムードを思う存分に演出しながら、福島原発事故を反故にしようと躍起になっています。その裏で、特に関西では「連帯労組・関西生コン支部」に対する未曾有の政治弾圧が続いているのです。

私たちは、この現実を断じて許すことができません。沖縄や福島で闘い続ける人々との、そして、多種多様なく反差別・反戦・反貧困・反彈圧>の闘いと、永続的で強固な連帯を作り出したい! 大同小異の民衆の統一戦線を構築したい! そんな思いを胸に、この「講演会シリーズ」を重ね、今回で8年目の16回を迎えました。

連帯を求めて孤立を恐れず。
 力及ばずして倒れることを辞さないが、
 力尽くさずして挫けることを拒否する。

あなたの参加を呼びかけます!

「11・10」実行委員会では、賛同団体、賛同人(個人)を広く募っています。
 趣旨に賛同される方は下記①と同じ方法でご連絡下さい。

① 下記のいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号と、必ず枚数をお知らせ下さい。
 [振り込み用紙] 同封でお送りします。

電話 090-8146-1929 (Cメール可)
 Fax 06-6741-8012
 メール tamazo@fanto.org

「コラボ玉造」まで 葉書 か 封書

② 郵便振替口座に「11・10 参加協力券 ○枚希望」とお書きになってご送金下さい。一枚につき、¥1,000です。入金を確認され次第、ご指定の住所・氏名まで郵送いたします。
 【口座番号】 00960-3-283254
 【加入者名】 コラボ玉造

※事務処理の関係上、お振込みの締切は11月1日(金)とさせていただきます。それ以降は、電話・ファックス・メールでお申し込み下さい。

お申し込み方法
 参加協力券